

和光堂株式会社  
代表取締役社長 岩上伸様

2015年2月12日  
新日本婦人の会  
会長 笠井貴美代

## ベビーフードの異物混入の原因と対策について

御社が「乳幼児の健やかな成長と人々の健康を応援します」を経営理念に掲げ、日々努力されていることに敬意を表します。

私ども新日本婦人の会は1962年に平和、女性の地位向上や女性と子どものしあわせを願い、結成されました。なによりもいのちが大切にされる社会をめざし、草の根から活動を広げています。

私どもは、2001年7月3日、中国産ハウレンソウに残留していた農薬が原因で、御社のベビーフードから農薬が検出された件で懇談する機会を設けていただきました。さらに2002年9月には食品添加物の問題で、2007年12月には大腸菌検出の問題で、懇談と要請をさせていただきました。

1月7日、御社の離乳食「グーグーキッチン ごろごろ肉じゃが」のレトルトパウチ食品にコウロギが混入していたことが昨2014年12月20日、消費者から寄せられていたとの報道があり、翌8日自主回収を発表されました。これに先立つ同年8月「グーグーキッチン 五目中華丼」にナトビハムシの混入、同月「グーグーキッチン お豆とお肉のシチュー」に軟質フィルム混入、さらに12年11月「BIGサイズのグーグーキッチン しらすと大根のまぜごはん」に2～3センチのプラスチックフィルム片の混入が明らかになっています。

国内最大手の乳幼児食品の製造・販売会社での異物混入について、子育て中の会員から子どもの食の安全にかかわることとして、大きな関心がよせられ、心配の声が上がっています。

以上について原因と再発防止の取り組みなどをお聞きいたします。

なお、「ごろごろ肉じゃが」は埼玉の協力会社が製造したとの報道ですが、他の異物混入についても同じ協力会社の製造でしょうか。パッケージの表示でどこで製造されたものかを確認できるようにならないかご検討ください。